

広島工業大学

同窓会誌



2000年

第34号

目次 —MOKUJI—

同窓会の現状と展望	1
2000年を遊んで思う	2
支部だより	4
卒業生だより	8
大学だより	12
同窓会本部	13
寄付者ご芳名	15
議事録ほか	16

外部出版社が発行する卒業生名簿は同窓会とは一切関係ありません。

先頃、「文教出版」から「広島工業大学同窓名鑑」の発刊案内と、それに伴う住所等の調査ハガキが卒業生の皆様に届いたようですが、これにつきましては、同窓会とは一切関係ありません。

また、同窓会事務局と称し、勤務先等を電話で調査しているところがあり、本会にお問い合わせや苦情の電話をいただくことがあります。同窓会では、毎年発行の同窓会誌・会報に同封の「連絡先調査票」による調査のみで、その他の手段での個人データ調査は行っておりません。

広島工業大学学歌

歌詞 広島工業大学選定

作曲 舟上 住

緑なる 緑なる三宅

深きいわれの 御倉を開き

倫哲愛を誇る 我等が学府

見よや行くて 精気の学士

研学の道 情りてぞ極む

ああ 広島工業大学

広島工業大学応援歌

歌詞 恩知 紀子

作曲 伴谷 晃二

生気 纏す 三宅の屋根に

若人 われら 力の限り

羽博け 勝利の大空へ

フライ フライ フライ

見せばや 工大 スピリット

勝て 勝て 勝て

われらの 広島工大



同窓会の現状と展望

広島工業大学同窓会

会長 道田 憲治

世界各国で2000年問題が取り沙汰された今世紀最後の年を迎え、同窓会員の皆様には大きな混乱もなくお元気で過ごされている事とお察し申し上げます。

平常は同窓会活動にご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、皆様も全誌等でご存知の通り、同窓会会員数も2800名余りと大きな組織になりつつあります。あと4年もすれば、大学が4年制になって初めての卒業生が、社会進出で言うところの初年度定年の年を迎えることとなります。同窓会本部と致しましても、何か記念事業を行いたいと色々模索しているところです。会員の皆様方の中に何か良いアイデア等がございましたら是非、同窓会事務局（幹事長宛）までご一報下さい。

同窓会役員（評議員）構成についてですが、年代別構成が、十分とは言えません。今後、益々活性化と共に未長く継続させて行くためにも、段階的に若い方の協力が、不可欠になってきます。同窓会事務局あるいは、ゼミの先生方から要請があるかと思いますので、是非積極的に協力して頂くをお願いします。

支部について少し述べてみたいと思います。皆さんもご存知の通り地域支部7、県支部14、職場支部33があり、年1回は総会等が開催され、少しずつではありますが活性化しつつあります。その中で、関東支部、近畿支部は、特に広範囲である

為、もう少し細分化して(例えば東京支部等)、企業(同窓生)と繋がりを持つ様になりたいと思います。職場支部は一番身近な会員相互の情報交換の場だと思います。本部と致しましても、より細かな支援をしていかなければならないと思っています。

大学も少子化問題、経済情勢の景気回復が鈍化の為の就職率の低下など大変な時期を迎えています。同窓会の役割が色々な面で大変重要になってきていると思います。

特に、工学部系における産学官の研究開発、インキュベーション、また学生が就職体験するインターンシップなど益々企業(同窓生就職先)との連携がより活発になりつつあります。そして、大学(準会員)、企業、行政、三方のお互いの情報が僅かではありますが、これまた活性化の方向へプラスになると思います。

これからも大学との連携を取りながら会員(準会員)皆様のための同窓会活動を推進していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

会員皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

最後に、それぞれの支部総会等がありましたら、是非参加をお願いしております。

第35回 同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】平成12年4月22日(出)

受付 午後4時～

総会 午後4時30分～

懇親会 午後6時～

【会場】メルパルク広島

広島市中区基町6-38

☎(082)222-8510

【会費】5,000円(当日徴収)



2000年を迎えて思う

広島工業大学

理事長 鶴 襄

先般、広島工業大学同窓会から上記の題で、寄稿を求められた。どうやら創立者である私に大学の将来展望についての話が聞きたいということらしい。

どんな事が起きるのか全く予想がつかない目まぐるしく変化する現代社会の中にあって、将来の大学展望を語ることは大変むづかしい。地球環境をはじめ人間規模まで多岐にわたって超スピードで変化する国際潮流時代に、ポピュラーな言葉も色褪せ断定的な言葉もファジーになる。(ちょっとかっこよく書きすぎたか？反省)では将来について今何が語れるかと頭脳を模索したが、私自身の小さな個人的願望しか出てこない。そこで今回は、私が卒業生にこうあって欲しいと思うことを書いてみた。

一番の願いは、先ず地球自然環境の保全に全世界の人間が一九九〇年になって邁進することである。本大学は時代に先がけて環境学部を平成5年に新設し、この問題にいち早く取り組んできた。社会人として働く卒業生達が、地球自然の生態系を守るという原点を忘れずに、各専門分野で活躍しているものと期待している。社会文明が発達し、私たち人間が快適で便利を喜しを確保しようとすればするほど、地球は汚染され、自然環境は破壊に追い込まれる。この矛盾に人間の敏智で臨み、自然界と人間社会の好ましい共生を切に願う。

先日、日本からフィリピンに紙資源として輸出された膨大なゴミを、私はテレビ画面

で見て驚いた。返られた荷物を開けてみると資源とは名ばかり、大部分はゴミの山で使い古しの注射器や紙おむつなど再生不可能な医療廃棄物がほとんどだった。中味が違うとフィリピン側が受け取りを拒否し日本に送り返してきた。資源ゴミと偽って輸出した日本商社の不正輸出。本当に残念でたまらない。どうしてこのような不誠実な事をしたのだろうか。只金儲けのためか。先進国日本が他国民を騙すこのような行動は決して許されない行為である。いやそのような悪を阻止することの出来る勇氣ある人を育てるのが、現代社会の人材教育ではないのか。他国民に対する礼儀をわきまえ、善悪の判断をしかと身につけた道徳的・倫理的人間としてまた、国際性をもった心豊かな卒業生であって欲しい。

先日財団法人広島ピースセンター主催による、日本語で発表する平和弁論大会に参加した16歳の少女が、大会後本学を見学に訪れた。彼女は発展途上国インドネシアの高校生で、将来は医学を勉強し医療に従事したいと熱く話していた。それを聞きながら、私は何故発展途上国の若者の目は生き生きと輝き、好奇心と意欲に溢れているのだろうかと思われられた。毎日私が大学で接している日本人学生には、彼女のような生命力あふれる勇氣と壮大な目標設定が感じられない。何故だろうか。医学部進学にはまだまだクリアしなくてはならないハードルが沢山あると深刻な面も語っていたが、彼女は自分自身の力で、更なる挑

職を重ね、世界を舞台に飛躍して医学の道に進んでいくと抱負を語っていた。その姿に、私は昭和31年広島高等電波学校創立次いで高等学校・工業短期大学・広島工業大学と設立した過去の事を思い出し感慨無量のものがあります。ここで私は同窓生諸君に参考になればと思い私の歩んできた苦難の道で何を指針として歩んで来たか書いてみた。

よく世間の人が「先生はいつ頃から高等学校新設・大学の設立の計画をなされたのでしょうか」と聞かれることがよくある。その時の答はすべて同じです。生徒、学生が上級学校に進学したいという気持ちが分かったのでそれに応えて今一つ上級の学校を設立した。

元来私は人間としても嬌小であり、資金がない、共同協力者もいない。只学校設立が高



来れば生徒・学生が喜ぶその夢が実現するよう祈った。全てに祈り感謝した。銀行からお金を借りたいと思ったら、お願ひし貸していただきたいと祈った。学生諸君が多く入学して欲しい時も又祈った。全てに祈った。思えば校祖鶴虎太郎先生も同じ状況のもとで私塾から中等学校令による正規の広陵中学校を設立された。校祖と私の共通点は、共に貧乏で資金がないのも全く同じであった。祈りが唯一であり、全てであった。卒業生の皆さんが何かやりたいことがあればあらゆる場面を予想し、小さい事も見逃さず神に祈り、前進し全ての事に感謝し、又一步進めばよい。

(85歳の誕生日にこれを記す)





夢

徳島県支部支部長

谷本 義明 [昭和45年
建築学科卒]

2000年がやってきた。今回のカウントダウンは例年になく力がいっぱい。世間を騒がせているY2K問題のためではない。否、少しは影響を受けているかもしれない。2000年、この響きが良い。私が子供の頃に胸をわくわくとときめかしたのは、小さい時から見聞きし夢見た200X年の世界の幕開けが始まるからだ。これから世界はどのように変わって行くのだろうか。5年、10年、20年後の世界はどうなっているのだろうか。想像するだけでドキドキする。今を生きている自分は本当に幸せである。しかし、時代は中高年にとって厳しくなっている。もうすぐ52歳。バブルの後片付けも本格的になってきた。これからは新しい時代に対応するシステムが機能してくるだろう。私がそのシステムに組み入れられるのか、または弾き飛ばされるだろうか分からない。経済はこれからはあまり良くはならないだろう。少子高齢化が進む老後は不安で一杯であるが、この時代の移り変わって行く様が本当に楽しい。いろいろの夢がかなえられている。今の時代私の貧困な思考では夢が見えない。たわいなくても、くだらなくてもいい明日を夢見てこの時代をエンジョイしたい。まず手軽なところからゴルフの腕前を上げること。目標パープレイ。20世紀中に、もうほとんど心配はいらない。コース攻略法は完べきである。技術もある、自信もある、実績もある(夢の中では何十回も経験している。)後は体がスムーズにイメージどおり動くかだけだ。

0月0日 ボカボカ陽気の絶好のゴルフ日和。いつもより早くゴルフ場につきコーヒーを飲む。練習グリーンでいつもより入念にバターの状態をチェックする。1番ティーグラウンドでいつものとおりいつもの仲間とチョコレートでひとしきりわいわい言う。いよいよスタートだ。2、3回素振りをした。不思議に落ち着いている。スムーズにアドレスができた。ゆっくりとバックスイングを

始動した。真っすぐ後ろに引かれたクラブはきれいな弧を描いて収まるべきところに収まった。肩も十分にまわり理想的なトップだ。ねじり上げられた脚、腰、肩。胸が一瞬止まったかと思うと激しく振りほどかれた。クラブヘッドはうなりをあげてボールに向かっていく、そして激しくボールを弾いた。ボールは青空の中どこまでも飛んで行くように思われた。歓声が沸き起こった。シリアルーン、シリアルーン目覚まし時計が激しくなっている。さあ、初日を見に行こう。初夢は元日から2日の朝にかけてみる夢のかな。今夜は続編を見るぞ。

夢、わたしは夢を見るのが好きである。小さいころからよく見てきた。ドラえもののび太のような夢をよく見た。子供のときの夢でかなえられたものはたくさんあるが努力の要らないものが大半である。50歳を過ぎた今もまだ夢をもっている。持ち続けている。しかし、切り替えがいいのか、あきらめがいいのかどンドン変わってきている。もう少し根性があればいいのと思う。いままさう仕方ないことである。まあ、いつまでも夢を持ち続けよう。肩ひじを張らず、気楽に。



福岡・佐賀合同支部総会

福岡支部支部長

山田 忠秀 [昭和48年
土木工学科卒]

平成7年10月に福岡県支部が発足して早4年が経過しました。その間に一度支部総会を開催しようとしたが参加者が少なく実現することが出来ずそれ以来なかなかきっかけがつかぬ今日に至った次第です。

このたび、広島工業大学より平成11年11月6日に教育懇談会実施の連絡を受け急遽支部総会の計画をし、一人でも多くの参加者をということで以前から佐賀県支部長の指山氏と地理的に近いので一度福岡、佐賀合同で総会を開催してみようかと話していたので、さっそく指山氏に打診したところ快諾を頂いて福岡、佐賀合同支部総会が実現の運びとなりました。

この日は、会場の福岡国際ホールでは、大学の教育懇談会が実施されており、懇談会会場に卒業生も参加し、卒業生の自己紹介から始まり福岡県内での卒業生の活動状況の報告など行い、その後の懇談会では卒業生に対しいろいろな質問が父兄の方からあったようである。

支部総会は、大学の教育懇談会と同日とあって、大学より12名と多数の先生方の出席を頂き、森保環境学部長より大学の近況報告、将来の展望など挨拶を受け、それぞれ他の先生方も自己紹介され、又同窓会本部より横山副会長も来賓され支部の現況報告と同窓会の将来について話を伺っ

た。

懇談会では、談笑の中、卒業年度別に分け参加者が全員一人一人自己紹介を行い学生時代の思い出、近況報告等し、その後、参加者それぞれ母校への思い出話に花を咲かせ、話し尽さない状況であった。最後に参加者全員で学歌を歌い、あらためて広島工業大学の卒業生であることを認識し、いっそう結束を深め、最高の盛り上がりとなった。

今後の支部の活動計画は特別にはありませんが、2年に一度程度支部総会を開催し、会員相互の親睦を計りたいと思っています。支部総会の開催場所についても福岡市だけに限らず北九州市、県南部と場所を変えて行おうと考えています。又会員間の連絡網を充実し会員の結束を計り、この不況の中おたがいに協力し合い乗り切って行きたいものです。支部活性化の為、支部への要望、意見等があれば今後の活動の参考にしたいと思っておりますので支部長宛に連絡をいただければと思います。

最後に今回の福岡、佐賀県支部合同総会開催にあたり、同窓会本部及び多数の方の協力を頂き誠にありがとうございました。

広島工業大学の益々の発展と同窓会本部役員ならびに会員皆様のご健勝を心から願います。



平成11年度総会開催

中電工支部幹事長

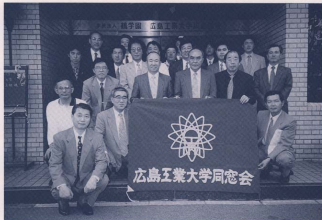
坂本 幸雄 [昭和45年
機械工学科卒]

平成11年5月22日(出)、広島工大広島校舎において広島工大中電工支部の総会を開催しました。総会の主たる目的は会員相互の親睦をはかることと新入社員の紹介でした。

大学より中西先生に御参加いただき総会には参加者20名で開催しそのなかで、中西先生に変わりゆく大学の近況を報告していただきました。総会のあと同校舎の1階において懇親会を開催しました。同窓会本部より道田会長の御出席をえて御挨拶をいただき新入社員の自己紹介の後、それぞれ参加者の紹介をして全員の親睦を大いに深めました。記念撮影、校歌合唱をして中締めとしました。今回の総会は4年ぶりでしたが今後毎年開催するよう頑張ります。

中電工支部の紹介

- 設立 昭和61年11月
総員 108名
(昭和38年入社～平成11年入社まで毎年入社)
配属先 東京～下関まで主に中国地方を中心に広範囲にわたっている。
役員
支 部 長 清水勝昭 (山口支店)
副支部長 鶴村悦治 (東広島部)
幹 事 長 坂本幸雄 (空調管技術部)
幹 事 長 隅本 聖 (情報システム部)
幹 事 長 瀬戸孝尚 (技術開発部)
会 計 矢吹信三 (広島支店)
監 査 井下博史 (営業部)



コベルコ建機支部活動報告

コベルコ建機支部

植重 智洋 平成3年
経営工学科卒

広島工業大学を卒業され、コベルコ建機株式会社に入社された諸先輩・後輩の皆様も様々な分野で活躍されております。私も1997年に同校を卒業し、現在は生産管理部門に配属され、システム担当として忙しいながらも充実した日々を送らせて頂いております。

このたびは、同窓会会長道田恵治様より同窓会会報への執筆依頼があり、コベルコ建機株式会社広島工業大学同窓会支部「コベルコ建機工大会」の活動報告をさせていただきます。

我々の支部は昭和54年4月1日に「広島工業大学同窓会油谷重工支部」として発足されました。幾度かの支部存続の危機を乗り越え、昨年10月、油谷重工のコベルコ建機への統合を機に、様々な思いを抱えながらも、新たに「コベルコ建機工大会」として活動しております。

現在の構成人数は会員及び特別会員併せて26名おります。慣例では年に数回の支部総会を行ってまいりましたが、最近では業務が多忙を極めており、会員の皆様の都合がなかなかつかないため、年に2回、懇談会を兼ねて忘年会にて会を行っております。他に新規に工大生が入社される時に特別支部総会として歓迎会を行っております。年に数回の会を行ってまいりましたが、最近では会員の方の業務が会では平原孝晴支部会長の下、各々の職務の立場を明確にしながらか、同校の卒業生であるとの仲間意識を持ち、全員相互の親睦を深めますとともに、会社の発展と母校の発展を図るの様々な意見交換を行っております。昨年度も統合会社の発足年ということもあり、道田恵治同窓会会長と工学部機械工学科の小西助教をお招きしての会を催し、今後の同窓会支部の方向付けを行っております。

私が入社した時にも、歓迎会として支部総会を開催して頂きました。入社して間もない頃ですので自分自身と会社に対する期待も大きかったので



すが、それを上回る漠然とした不安が大きく胸のうちを占めておりました。今思えば、不自然に肩肘を張っていたのを思い返します。そのような時に諸先輩方が温かく迎え入れて下さり、社内でも気軽に声を掛けて頂きましたことで過度の緊張が解け、自然と業務に馴染んでいくことができましたことを覚えております。その後も自分が社人として間違った方向に進んで行きそうになったときなどには、お叱りの言葉を頂くことで自分の方向を確認し、正しい方向へ進んで来たのではないかと思います。

最近では支部総会の活動も様々な理由により活気のあるものとは言えなくなりましたが、会の活動そのものは有意義なものだと感じております。今後は現在の活動を維持することを第一の目的とし、これからも入社して来られるであろう工大生のためにも可能な限りの会合の場を提供していきたいと考えております。

最後になりましたが、同校を卒業された皆様方のより一層のご活躍を祈念し、以上をもちまして「コベルコ建機工大会」の活動報告とさせていただきます。

People



小学生ソフトボールチーム の監督をして

すみはら まこと
住原 誠 (昭和48年 機械工学科卒)

太陽が西に傾き薄暗くなった頃、誰にあっても挨拶をする、整理整頓をする、宿題をちゃんとする、大きな声が校庭に響きます。毎週、火、木、土、日曜の週4日練習後にチームのモットーを唱えて練習が終わります。これが私が監督をした、片山少年クラブというチームです。呉市の中心部に位置する全校生徒が200人弱の呉市立片山小学校の子供達で編成するソフトボールチームです。

最近の少子化、サッカーを初めその他スポーツの普及などで仲々子供達が集まらないためどの学校もチーム作りが苦労しているのが現状です。

うちのチームも最盛期には5~60人のメンバーがおりましたが、昨年は1~6年生25人の人数で戦いました。当呉地区では、呉市を中心に安芸郡、賀茂郡、豊田郡などの地域からチームが参加して大会が開かれます。その大会の中で大きな大会が三つあります。

1. 全国大会予選 (参加40チーム位) 2. 呉地区少年ソフトボール大会 (中国新聞主催・参加50チーム位) 3. 呉近郊地区少年ソフトボール大会 (毎日新聞後援・参加50チーム位) の以上です。

昨年度は、全国大会予選で3位 (広島県予選敗退で全国大会出場ならず)、呉地区少年ソフトボ-

ール大会で代表決定戦で勝ち上がり、広島県大会出場、呉・近郊少年ソフトボール大会で優勝と、創部24年で最高ともいえる成績を取めました。

呉・近郊ソフトボール大会では、優勝の副賞として春の選抜高校野球開会式での招待を受けることになりました。子供共々楽しみにしております。

こういう成績が取られたのも子供達が頑張ったのが一番ですが、まわりで支えて下さった父兄を初めとするスタッフの力もあったからこそです。

小学生の子供達に教えることは、非常に難しいものがあります。ボールの投げ方から捕り方、一から指導しなくてははいけません。私も中学、高校と少しは野球をやってきましたが捕球のしかたなど教わったことなどなかったため、プロの捕り方などまず自分で形を作り、こういった形になるからこう教えようとか苦労しながらやってきました。

しかし、1年たつと随分違ってきます。特に3~6年生は体も大きくなり見違えるほどです。ただ、いくら25人の人数といっても小学生です。全員が右向け右とおとなしくは慣うわけありませんし、レギュラークラスの練習、下級生はボールに慣れることと、練習内

容も違ってきます。練習するのもですが、試合会場に行くのも何台かの車に分乗していくようになります。これらのことは、到底私一人でできるものではありません。スタッフの皆さんの協力でいいチームができました。

ソフトボールをして子供達が、何かを学んだかなんてことはわかりませんしソフトボールをした仲間がずっとこれからも仲良くやってくれようとも思いません。ただ、子供達一人一人の方がついてくる、何もしないでいる子よりも走力が伸びた、風邪を引きやすい子が引かなくなったとか、ある父兄の人から、「うちの子は一人っ子だからソフトボールのチームに入って、兄弟ができたようです」こう言われたことがあります。最近では近所の子供が一緒になって、年齢が超えて遊ぶこともないようです。そうした中で下級生が上級生にかまってもらい、上級生が下級生をいたわってやる。こうしたことが大切なことだと思ってやってきました。

その上で、試合をして勝てればこれほどのことはありません。やはり試合ともなると勝りたいのが当たり前。子供達も我々もそう思い戦ってきました。

幸いにも、昨年はある程度の結果を残すことができてうれしくお

もっております。

父兄の方々にも、いい監督に教わりましたと言われましたが、いい監督を作るのは選手が作ってくれる。これが実感です。

最後に、子供達が新聞に投稿して掲載された文章の一部を紹介します。

「この大会で優勝までいきました。その時、うれし涙と感動の両方が初めてでした。これもすべて住原監督をはじめ、コーチの方々や保護者のおかげです」

私には、これが最高のプレゼントになりました。



大学における知的所有権学習の必要性について

に い としはる
新居 敏春 (南ステファンテリーN I I (昭和51年 機械工学科卒))

特許や商標などの知的所有権を勉強しているのは、大学在学者266



万人の1%の2万8000人に過ぎないというお粗末な実態が、最近の発明協会の調査で明らかになりました。

技術移転研究所(TLO)など、大学の特許を産業に活用しようという施策が盛んに展開されている一方で、学生が「知的資産とは何か」「どんな利用法があるか」といった基礎知識を学ぶことができない実情が報告されている。

増尾太一の「知能革命」、P. F. ドラッカーの「新しい現実」—米たるべき社会を描いた名著は例外なく知恵や情報の価値が今後さらに高まることを予測しています。

物質的充足を達成したいま、モ

ノや機械などのハード価値が相対的に低下し、知恵や情報などのソフト価値が主役となりつつあるのです。

知恵や情報が最も重要な資源となる社会—本格的知能社会の到来です。

経営・開発・マーケティング・販促・営業などの企業活動のあらゆる領域—あらゆる仕事で知的所有権(知的財産権)の保護の必要性が日増しに高まっています。

経営者はもとより、管理層から現場の第一線に至るまで、より良い知的所有権になりうるアイデアや発想を求めています。

この様に、いまの学生に求めら

れる能力として「発想力」・「創造力」・「情報力」・「開発力」・「企画力」=（知的力）が挙げられます。

私も現在美業種20社に対して新商品開発・新規事業企画・販促企画・社員教育等を行っておりますが、最近特に知的所有権をめぐるトラブルが多く発生しております。例えば、

1. 看板を取り付けたところ取付金具に発明（特許権）があり、ライバル社より損害賠償を請求された。
2. 音楽用CD（レンタル用）のケースを製造したところ、他社より考案（実用新案権）を侵害しているとの警告を受ける。
3. 食品会社において自社のパッケージがA社のパッケージ（意匠権）に類似しているとして損害賠償を請求された。
4. サンダルの小売業者に、デザイン（意匠権）を侵害しているので他社の商品は販売を禁止するよう求める警告書が送られて来た。
5. 大手スポーツ用品メーカーのマーク（商標権）を知らずに自社の商品名（ネーミング）に使用し、損害賠償を請求された。
6. ザビエル聖堂の刺繍を模に、ザビエルというネーミングの特産品を開発することになりネーミング（商標）を調査した結果、同様のネーミング（商標）がすでに登録されており使用できなかった。
7. 温里友（オンリーユー）のネーミング（商標）を広く商品に使用したところ、各分類

にすでに8件の出願があり、その分類には使用できなかった。

8. 大手スーパーの発行する「カード」のネーミングを広く募集し、決定したところそのネーミングはすでに他社で使用されていた。
9. 商品を販売して2年目に、他社から不正競争防止法に違反する商品を販売しているとの内容証明が送られて来た。
10. 他人の音楽をBGMに使用したため著作権法違反で訴えられた。
11. コンピューターソフト（ゲーム用・業務用）を開発したが、どうやって権利を保護してよいのかわからず、他社に類似品を出されてしまった。
12. 製造業において、ある新商品を開発したが、すでに権利化されているかどうか調査方法がわからず、保護方法もわからず現在に至っている。

以上の例はほんの一例であり、知的所有権を学習していれば回避できたトラブルばかりです。

このように、社会で企業が活動する上において「知的所有権」の存在は避けて通れないものであり、言い換えれば企業の繁栄存亡に多大なる影響を及ぼすものであります。

社会人はもとより学生の方々も「知的所有権」を学習し修得することにより社会に適応できる人材として活躍できると確信しております。

また、今社会（企業）が求めているのは、社会（企業）を動かす力ー社員個人個人の自由な発想、

「知的力」であります。

技術革新が進めば進むほど、ハード（コンピューターや会社機構等）を動かす人間のソフト（プログラミングや発想力、創造力等）が不可欠になってくるのです。

やがては、それが「知的所有権」につながり、企業のみならず社会や世界全体の未来を大きく左右しているのです。

某アメリカの大学教授は「知的所有権について日本の大学生の理解はアメリカの小学生にも劣る。」との評価を下したそうです。

その真意はさておき、これが現状なのです。

「レジャーランド化」の批判もある大学教育においてカリキュラムの充実を図る上で知的所有権学習（法的レベル及び実務レベル学習）は、まさにこれからのニーズに即した非常に重要な分野といえるでしょう。



岡山市議会議員初当選を果たして

わけ
和気 たけし 岡山市議会議員（昭和45年 土木工学科卒）



同窓生の皆様方のご賛助にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年は、私にとりまして、大きな、変革の年でありました。即ち、昭和45年に土木工学科を卒業後、岡山市役所に奉職して以来、建設畑の行政一筋であり、全く、選挙に関わったこともなければ、他人の選挙を応援したこともなく、ましてや自分自身が選挙で出ることなど考えても見ませんでした。

ただ、職員として長年議員の役が働、勝手なことの言い放題に振り回されており、この現状が変わらなければ、岡山市政は良くはならないなどは感じていました。そして、都市経営感覚の鈍い、そして強いリーダーシップを持った市町が現れて欲しい、又、良識のある議員を出したいと言う願いは、かねてより持っておりました。

その私が、自分がやらねば己の漢学非才を省みず、周囲の反対を押し切り、岡山市議会議員選挙に、挑戦を致しましたが、自己の中で何がどのように変わっていったのか、そのプロセスが自分でも十分に整理できていませんので、

他人から見れば益々分かりづらいのではないかと思います。

今振り返って見ますとき、我ながら、あのエネルギーが自分の中によくぞあったなと思っている所です。大きな組織の支援や資金力のない普通のサラリーマンや公務員が選挙に出るのはきわめて難しい現実があります。だれの地盤を受け継ぐわけでもなく、そんな厳しい条件の中で、無謀な決断をしたものと思います。しかし、この無謀な挑戦を支えて頂きました皆様方に、この場をお借りし改めて御礼申し上げます。

特に、感謝申し上げなければならぬことは、母校の同窓会岡山支部の皆様方、支部長の村上先生を中心に、役員が中心となり、火の玉になり取り組んで頂いた事があります。

考えて見ますと、私も同窓会支部役員の一員ですが、あまり貢献もしておらず、役にも立っていません。もっと言えば、それまでほとんどおつきあいのなかった関係であります。ただ単に同じ大学を卒業したと言うそれだけの関係でしたが、我が事のように本気で応援をしていただきました。

又、卒業以来ほとんど会うこと

のなかった、同級生や先輩、後輩、更には恩師の先生までもが、県内外から、心配をされ、わざわざ、陣中見舞いに来ていただきました。生涯忘れられる事のできない感動をたくさん頂きました。

当選させていただきました喜びもさることながら、何よりも人の心の温かさや、人情の深さを味わうことができ、大きな財産を築くことができたことに感謝しているところです。今後は、初心を、忘れることなく、選挙公約でありました、市議会の改革、そして岡山市が、学永久的に、未来に存続していくために、今何をしなければならぬのか、そして、何をすべきでないのか、真剣に考え、質問を通じ、様々な提言を行っているところです。そのことで、皆様にお返しをしたい、喜んでいただけるに違いないと決意を新たにしています。

そして母校、広島工業大学の、卒業生の一人として母校の名誉と誇りのために、理想を高く持ち続けた政治活動を目指すことを皆様方にお誓い申し上げます。

今後ともご支援と共に、最良のご意見や叱責を賜りますようお願い申し上げます。



文部省は、私立大学の先端的な学術研究基盤を強化し、科学技術を推進することを目的として「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」ならびに「学術フロンティア推進事業」を運んでいます。前者は、私立大学のなかから最先端の研究プロジェクトを選定し、その実施に必要な施設・設備をはじめ総合的な支援を行い、学術研究基盤を強化し科学技術の推進に資することを目的とするものです。また、後者は、優れた研究実績をあげ将来の研究発展が期待される卓越した研究組織を選定整備して、内外の研究機関との共同研究の推進をめざすものです。

本学では、平成8年度に「人工衛星高度利用技術に基づく環境・防災等社会基盤システムの開発」を研究テーマとするグローバル社会基盤情報科学ハイテク・リサーチ・センターが前者に指定されました。また、平成9年度には「超高速塑性加工における変形機構の研究と新加工技術の開発」をテーマとする研究プロジェクトが学術フロンティア推進事業に選定され、超高速塑性加工研究センターが設立されました。これらはいずれも、それぞれの事業の発足初年度に選ばれたもので、現在、鋭意研究が続けられています。

この二つに続いて、平成11年度には、第2のハイテク・リサーチ・センター整備事業および学術フロンティア推進事業として次の二つが指定されました。いずれも平成11年度内に研究陣を完成し、機器・装置などの納入受け付けを済ませ、平成12年度より本格的な研究が開始されます。合わせて4つの研究プロジェクトが選定されている大学は極めて少なく、本学の研究への期待の大きさが窺えるとともに、本学における先端的科学技術の研究体制がさらに整備されたことになり、今後の教育研究の充実に寄与するものが大であると思われまふ。以下、その二つについて概要を紹介いたします。



【第1ハイテク整備事業】

●知能材料・機器研究センター

研究テーマ：「知的機能保有型材料・機器の開発に関する研究」

環境の変化や内部異常などに知的に対応し、自律的に機能を発現する構造物や材料、すなわち知的機能保有型材料・機器の開発をするための研究を行なうものです。安全工学、環境工学、エネルギー工学など数多くの分野の研究を横断・学際的に行ないます。

【第2フロンティア推進事業】

●高度地球環境情報研究センター

研究テーマ：「高精度地球環境情報生成技術に関する研究」

地球観測データの高度化に対応し、信頼性の高い多様な地球観測情報を得るための研究開発を行ないます。共同研究機関（国内6機関、国外は米国、台湾、シンガポールなど）との連携により、最新の情報処理技術の積極的活用とデータ利用手法の確立をめざします。

主要研究課題の1つである仮想現実空間情報生成技術に関する研究を行なうパーチャルリアリティ研究室が平成11年9月に竣工いたしました。

工大生、人命救助でお手柄

機械工学科3年の沖野智宏君と笠井寛樹君が、川からあふれ出した濁流にのまれそうになった2人の生徒を救出した。6月29日15時ごろ武蔵船着の駐車場に車を停め川を見ていたところ、急に水が噴出し、小学生の女の子と、その子を家まで送り届けようとした高校生が足を滑らせ流されかけた。沖野君が2人をつかまえたところを笠井君が引き上げた。沖野君は「多分一人だったら僕も一緒に流されていたと思います。そのくらい流れがひどかった。」笠井君は「身の危険を感じましたが、それよりも2人を引き上げることに第一杯でした。あつという調の品乗車でした。」とその時の様子を語ってくれた。その後用がますます激しくなったため、2人は近辺で見張りをしていた小学校の先生や流れが弱まっている小学生を安全な場所に誘導し、流れかけた女の子を本学の保健室へ連れて来たそうだ。2人の勇気ある行動に拍手!!



昨年6月29日の集中豪雨災害に関するトピックス（H11、7発行 広報紙「応工大」より抜粋）
注：この後、2人は本学学長と副学長から表彰を受けました。

平成11年度支部総会・懇親会開催

高 知 平成11年5月16日 18:00～
(サンライズホテル)
名 古 屋 平成11年6月13日 12:00～
(国際サロン)
広 島 第 一 平成11年7月3日 18:00～
(ハートピア平安閣)
徳 島 県 平成11年10月30日 17:30～
(魚民)
長 崎 県 平成11年11月6日 18:00～
(出島会館)
岡 山 平成11年11月6日 17:30～
(ホテルニューオカヤマ)

福岡・佐賀 平成11年11月6日 17:30～
(合同) (福岡国際ホール)
愛 媛 県 平成11年11月13日 18:30～
(国際ホテル松山)
山 口 周 南 平成11年11月13日 18:30～
(ホテルサンルート徳山)
徳 本 平成12年1月23日 12:00～
(熊本交通センターホテル)
中 電 工 平成11年5月22日 16:30～
(広島工大広島校舎)
油 谷 重 工 平成11年7月30日 19:00～
(話経てんま亭)

同窓会地域・県支部の支部長および連絡先

<地域支部>

A 1 関東支部
支部長 上 村 忠(45年電子卒)
〒333-0811 川口市戸塚5-18-21 (048)295-8050
井上公共システムエンジニアリング㈱ (03)5632-1200
A 2 岩国支部
支部長 田 原 亮 治(45年建築卒)
〒741-0062 岩国市岩国2-17-18 (0827)43-1865
岩国市役所 (0827)22-4141

A 3 近畿支部
支部長 馬 瀬 勉 夫(42年電子卒)
〒533-0013 大阪市東淀川区豊里5-17-1-102
(06)326-3691
木村化工機㈱ (06)488-2508

A 4 山口周南支部
支部長 長 弘 光 高(41年電子卒)
〒744-0024 下松市本武上東中村 (0833)43-4891
二葉電工㈱ (0834)25-1065

A 5 ミシガン支部
支部長 嶋 田 正(66年機械卒)
2844 GROH TRENTON, MI, 48183 部谷雅幸
(313)679-3471

A 6 名古屋支部
支部長 打 田 博 之(44年電気卒)
〒442-0876 豊川市中部町2-22-6 (0533)84-0971
中部軽東工業㈱ (0548)22-1831

A 7 広島第一支部
支部長 和 田 一 雄(47年土木卒)
〒739-1804 高田郡高宮町大字房後125-29
藤和田組 (0826)57-1314

<県支部>

B 1 長崎県支部
支部長 山 本 良 仁(47年土木卒)
〒852-8152 長崎市住吉台2-2-201 (095)847-7998

B 2 徳島県支部
支部長 谷 本 義 明(45年建築卒)
〒770-0872 徳島市北沖洲4-14-11
建築設計事務所 蔵 青木 聡 (0886)64-1108

B 3 香川支部
支部長 田 尾 浩 一(49年経営卒)
〒762-0011 坂出市江見町483-16
柳石垣 資材部 (0877)44-4111

B 4 宮崎県支部
支部長 谷 口 忠 光(43年機械卒)
〒889-1901 北郷郡東三股町榑山4227-5 (0986)52-0952

B 5 鳥取県支部
支部長 折 田 昌 弘(38年電子卒)
〒690-0854 松江市南平台18-2 (0852)26-3352
藤日立製作所 (0852)26-7366

B 6 愛媛県支部
支部長 風 本 理(51年電子卒)
〒790-0011 松山市千舟町7-8-2 藤ホクト
(089)932-2345

B 7 岡山支部
支部長 村 上 信(38年電子卒)
〒700-0901 岡山市本町6-36 第1セントラルビル4 F
テイクコ㈱ 安田邦夫 (086)232-0311

B 8 大分県支部
支部長 平 川 敏 郎(45年土木卒)
〒870-0090 大分市大字三芳1239-1
協同エンジニアリング㈱ (0975)45-2111

B 9 熊本県支部
支部長 山 下 志 道(48年土木卒)
〒862-0920 熊本市月出3-1-30
空間共同社 福島真一 (096)381-7316

B 10 鹿児島支部
支部長 井 科 征(43年電気卒)
〒892-0816 鹿児島市山下町11-1 鹿児島市役所
区画整理課 田之上 和博 (0992)24-1111

B 11 福岡支部
支部長 山 田 忠 秀(48年土木卒)
〒839-0863 久留米市国分町1648-7 藤クスコ
(0942)21-0621

B 12 鳥取県支部
支部長 仙 田 定 雄(44年建築卒)
〒682-0816 倉吉市駄辻寺町60-1
寿土木㈱ 小本高壽 (0858)22-4858

B 13 高知支部
支部長 田 中 顕 一(44年電子卒)
〒781-0270 高知市共済134-42 川瀬 伸 (0888)42-7230
㈱テレビ高知 川瀬 伸 (0888)83-3311

B 14 佐賀支部
支部長 指 山 紹 男(48年経営卒)
〒840-0894 佐賀市神野東3-2-16 (0952)31-7191

広島工業大学同窓会地区、県、職場支部の結成状況

(平成12年2月現在)

(支部結成)	(区分)	(支部名)
A 1)	昭和44.7.13	地区 関東支部
A 2)	昭和50.4.1	地区 岩国支部
A 3)	昭和53.9.20	地区 近畿支部
A 4)	平成4.4.18	地区 山口期南支部
A 5)	平成4.8.19	地区 ミシガン支部
A 6)	平成6.5.28	地区 名古屋支部
A 7)	平成7.6.30	地区 広島第一支部
B 1)	昭和54.10.20	県 長崎県支部
B 2)	昭和54.12.1	県 徳島県支部
B 3)	昭和54.12.2	県 香川県支部
B 4)	昭和57.6.19	県 宮崎県支部
B 5)	平成3.3.16	県 島根県支部
B 6)	平成3.11.2	県 愛媛県支部
B 7)	平成4.10.23	県 岡山支部
B 8)	平成4.11.7	県 大分県支部
B 9)	平成5.6.12	県 熊本県支部
B 10)	平成5.11.27	県 鹿児島県支部
B 11)	平成6.10.15	県 福岡支部
B 12)	平成6.12.10	県 鳥取県支部
B 13)	平成8.3.16	県 高知支部
B 14)	平成8.10.5	県 佐賀支部
C 1)	昭和54.4.22	職場 ジューキ広島製作所
C 2)	昭和54.4.22	職場 中国電機製造機
C 3)	昭和54.4.22	職場 大協機
C 4)	昭和54.4.22	職場 中国電力機
C 5)	昭和54.4.22	職場 コーベルコ建設機
C 6)	昭和54.4.22	職場 三建産業機
C 7)	昭和56.9.26	職場 慶電商事機
C 8)	昭和57.3.20	職場 林誠社
C 9)	昭和57.6.5	職場 三次電機機
C 10)	昭和57.6.5	職場 マツダ機
C 11)	昭和57.11.27	職場 広島信用金庫
C 12)	昭和59.1.21	職場 林竹製作所
C 13)	昭和60.3.1	職場 広島市役所
C 14)	昭和61.6	職場 廣明技研機
C 15)	昭和61.10	職場 十日市役所
C 16)	昭和61.11	職場 林中電工
C 17)	昭和62.12.12	職場 シンゲヤ精機製作所
C 18)	昭和63.5.13	職場 西川化成機
C 19)	昭和63.6.27	職場 広島市消防局
C 20)	平成1.4.22	職場 株式会社エフ
C 21)	平成2.4.21	職場 ホーコス機
C 22)	平成2.7.27	職場 福山市役所
C 23)	平成2.7.27	職場 林ヒロテック
C 24)	平成3.8.11	職場 林コンセック
C 25)	平成4.2.8	職場 林日本製鋼所
C 26)	平成4.3.7	職場 広島建設工業機
C 27)	平成4.6.26	職場 カワダ機
C 28)	平成6.12.18	職場 ヒルテ工業機
C 29)	平成7.3.31	職場 富士通アン機
C 30)	平成7.6.30	職場 日本電設工業機
C 31)	平成7.9.29	職場 林茂字建設コンサルタント
C 32)	平成8.7.19	職場 林橋平製作所
C 33)	平成10.7.4	職場 川鉄建機
(A) 地区支部7	
(B) 県支部14	
(C) 職場支部33	



図1 支部結成のようす

支部結成のために必要とされる手続き

- 1) 支部結成発起人(氏名・卒業年度・学科など)
- 2) 支部所属会員名簿(同上)
- 3) 支部規約案(見本があります。参考してください。)
- 4) 支部事務局となる連絡場所(代表者・連絡先住所電話番号など)
- 5) 正式に支部として承認されましたら、支部規約のもとで支部長等役員名簿を、本部に届ける。

〈支部結成のための連絡先〉

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1

広島工業大学同窓会本部事務局

TEL(082)921-3121 FAX(082)922-1925

平成11年度 議 事 録

幹 事 会

◎第1回幹事会

平成11年5月13日(休)

- 協議事項
1. 平成11年度役員等について
 2. 川崎前学長の「感謝の会」について
 3. 同窓会報について
 4. 体育祭援助等について
 5. 同窓会40周年記念行事について
 6. 次回以降の開催日程について

◎第2回幹事会

平成11年6月21日(休)

- 協議事項
1. 総長による工学部改組転換の説明について
 2. 同窓会40周年記念行事について
 3. 平成12年度総会について
 4. 旅費規程について
 5. 名簿メンテナンスについて

◎第3回幹事会

平成11年10月5日(休)

- 協議事項
1. 大学との連絡協議会について
 2. 平成12年度総会について
 3. 同窓会誌について
 4. デジカメ購入について

◎第4回幹事会

平成11年12月16日(休)

- 協議事項
1. 平成11年度卒業記念品について
 2. 平成12年度総会開催について
 3. 平成12年度役員選出について

役 員 会

◎第1回役員会

平成11年5月15日(出)

- 協議事項
1. 平成11年度役員・担当の欠員分について
 2. 川崎前学長の「感謝の会」について
 3. 同窓会報について
 4. 体育祭援助等について
 5. 同窓会40周年記念行事について
 6. 次回以降の開催日程について

◎第2回役員会

平成11年7月10日(出)

- 協議事項
1. 同窓会40周年記念行事について
 2. 平成12年度総会について
 3. 名簿メンテナンスについて
 4. 教育懇談会と同日開催の支部総会会場費の大学補助の申請について
 5. 歴代地区豪雨災害の支援について

◎第3回役員会

平成11年10月16日(出)

- 協議事項
1. 大学との連絡協議会について
 2. 同窓会誌について
 3. デジカメ購入について
 4. 支部総会参加要請について

◎第4回役員会

平成12年1月8日(出)

- 協議事項
1. 平成11年度卒業記念品について
 2. 平成12年度総会開催について
 3. 平成12年度役員選出について

平成11年度 在学生援助

同窓会では平成11年度、在学生援助を目的として体育祭30万円、大学祭44万円、クラブ援助60万円、奨学金90万円などを予算化しました。

下に示すクラブは、1月現在までに申請があり、規定に従い援助したクラブ名と援助額です。

(体育系クラブ)

ヨット部	西日本学生ヨット選手権大会	40,000円
ヨット部	全日本学生ヨット選手権大会	48,000円
ウエイトリフティング部	西日本新人選手権大会	7,000円

(文化系クラブ)

茶道部	定例茶会	20,000円
茶道部	露月茶会	20,000円

計 報

同窓生一同、心からご冥福をお祈りいたします。

安部 龜 年 先生 (元基礎教育 特任教授)	平成11年3月15日	享年81才
三戸 左 内 先生 (名誉教授)	平成11年9月14日	享年88才

ご逝去の旨、連絡をいただいた会員の方々です。謹んでご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

401011 土 屋 勝 男	平成12年2月6日	403120 清 水 章 平	平成8年6月30日
431051 淺 藤 忠 幸	平成11年3月10日	463252 舛 田 孝	平成10年9月
441094 竹 井 祥 二	平成9年5月26日	553044 合 田 茂	
481091 平 岩 孝 司	平成10年12月9日	415225 三 原 正	平成9年9月30日
93A103 野 島 正 彦		425040 桑 田 博 人	平成10年5月24日
382037 上 河 日出夫	平成10年4月16日	426117 森 上 正 克	
522064 住 友 一 夫	平成4年	436083 長 島 剛 高	平成12年2月
		94F048 小 徳 篤 志	平成10年12月18日

広島工業大学
同窓会誌第34号

発 行 広島工業大学同窓会
編 纂 広島工業大学同窓会編集委員会
731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
広島工業大学内広島工業大学同窓会
☎(082)921-3121 内線570

